

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	コデアル株式会社	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	5名
事業概要	対等(CO)なやりとり(DEAL)ができる即戦力人材のプラットフォーム「CODEAL（コデアル）」を展開。即戦力人材に業務を依頼したい企業と、自身の高度な能力を高単価で提供したい人材が直接やりとりできる場を提供。求人案件全体の51%は入社0日の「完全リモート」となっている。		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途ルール策定
テレワーク担当部署	バックオフィス部門/システム管理部門
テレワーク対象者	全社(社員・業務委託含む全スタッフ)
実施者数	全スタッフ5名(業務委託者を含むと15名)
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

企業としてのビジョンを「働くをもっと自由に」と謳っていることもあり、働き方に型を作らず、場所にとらわれず個々の能力や特性を活かした働き方を推奨すべく、創業当初より全スタッフにおいてテレワーク・リモートワークでの業務を行っている。社内において、テレワーク・リモートワークは「当たり前」の光景である。

テレワークの概要・特徴

企業のビジョンを「働くをもっと自由に」とし、働き方に型を作らず、場所にとらわれず個々の能力や特性を活かした働き方を推奨すべく、創業当初より全スタッフにおいてテレワーク・リモートワークでの業務を行っている。

各種クラウドツールを利用し、スタッフ間のコミュニケーションやスケジュール管理を密にすることで、マネージメント側もスタッフの労働時間等日々把握できるような仕組みをとっており、長時間労働や過重労働のシグナルはすぐにキャッチできるよう努めている。

当社は全社的にテレワーク・リモートワークが「日常」「当たり前」の環境となっているため、世間一般によく聞くスタッフへのマイナスの視点や働く側の肩身の狭さなどは全くない状況にある。テレワーク・リモートワークへの理解や、制度を利用しやすい企業風土を作っていくことが、効果的なテレワーク・リモートワーク導入の近道だと考える。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

企業のビジョンを「働くをもっと自由に」とし、多様な働き方を推進していることを全面的にアピールしているため、高度な能力を持ちながらも、居住地やプライベートな事情等様々な障壁でオフィスワーク必須の状況では出会うことの難しかった人材にも出会えている。

実際、当社は東京にオフィスを構えているが、スタッフの大半はテレワーク・リモートワークで業務を行っており、関東圏外、関西の他、ヨーロッパからジョインしているスタッフもいる。様々なクラウドツールを利用することにより、距離によって業務に生じる障害はほとんどなく、個々が快適と感じる環境で日々業務を行っていると認識しており、「働きやすい会社」を自認している。

スタッフも、通勤に係る時間や疲労をを省くことができるため、結果として業務の効率や生産性も上がり、プライベートの時間を確保しやすくなる。結果的に、ワークライフバランスも向上するなど、企業としても、スタッフとしてもお互いにWin-Winの状態が確保できている。オンラインでのビデオ会議等を頻繁に行っており、コミュニケーションにも問題はないが、定期的にスタッフを東京オフィスに集めて全社を行うなど、「血の通った」交流にも努めている。

また、この「企業とスタッフのWin-Win状態」を全社的に実行・実感しているため、運営しているサービスのプラットフォームにおいても、「自由な働き方」を推奨しており、結果、求人案件全体の51%は入社0日の「完全リモート」となっている。日々、テレワーク・リモートワークの普及に貢献している。